

令和3年度決算概要

実質収支は、19億1,442万円の黒字となりました。

歳入総額①303億6,903万円から歳出総額②281億6,679万円を差し引くと、22億224万円（形式収支③）になります。

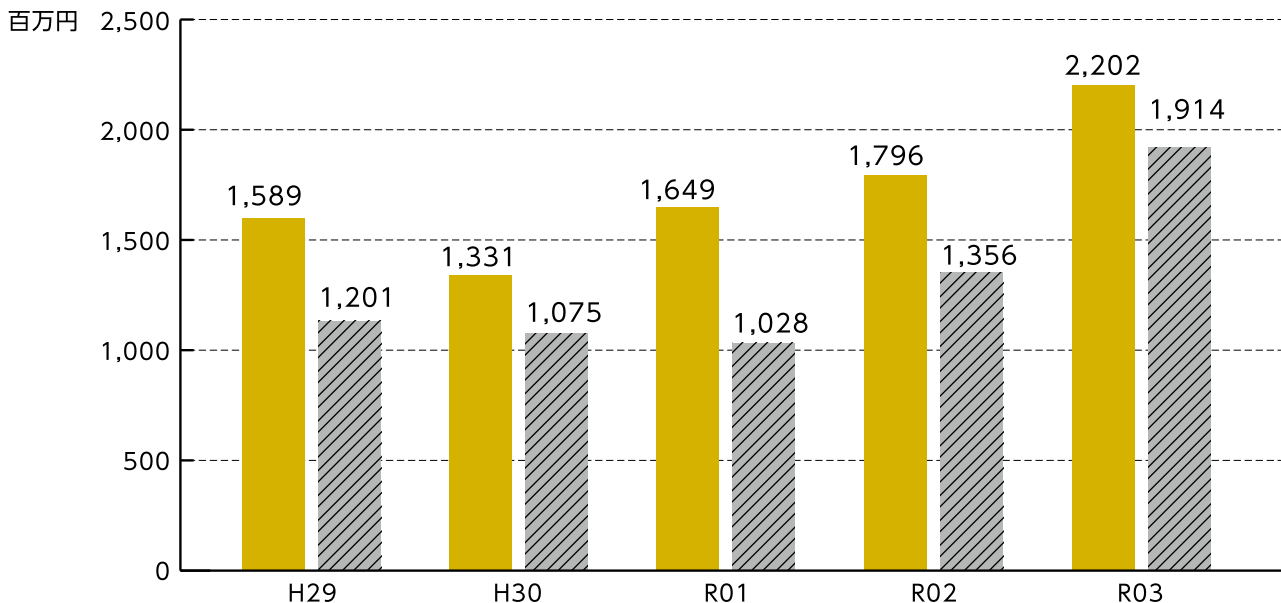
ここから、令和3年度末までに完了しないで令和4年度へ繰り越した事業に充てなければならない財源④である2億8,782万円を差し引くと、最終的に実質収支⑤として19億1,442万円が残りました。残ったお金は令和4年度の財源とします。

歳入総額	①	303億6,903万円
歳出総額	②	281億6,679万円
形式収支(①-②)	③	22億 224万円
翌年度へ繰り越す財源	④	2億8,782万円
実質収支(③-④)	⑤	19億1,442万円

一般会計決算収支の推移

過去5年間の決算収支の推移は、下のグラフのとおりです。

■ 形式収支    ▨ 実質収支



財政の健全度は

令和3年度決算に基づく財政健全化判断比率は、いずれも国の示す基準を下回っており、財政の健全度を維持しています。

財政健全化判断比率	令和2年度	令和3年度
実質赤字比率	黒字	黒字
連結実質赤字比率	黒字	黒字
実質公債費比率	11.6%	11.1%
将来負担比率	83.6%	72.3%
資金不足比率	該当なし	該当なし

実質公債費比率は、市の財政規模に対して返済した借入金の割合で、前年度に比べ、0.5ポイント減少しました。

将来負担比率は、市の財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合で、前年度より11.3ポイント減少しました。

今後も、学校、橋りょうなどの公共施設の長寿命化等に対応し、人口減少や高齢化に伴う税収の減少を見据え、長期的な視点に立った財政運営を行います。